

第 68 回理事会議事録

1. 日 時：2020 年 12 月 18 日（金）
2. 議決方法：オンライン会議システム Zoom を使用した
3. 議事参加者：【理事 11 名】 鳩山勝郎、浅越ことみ、伊藤直彦、久保公人、齋藤陽子、寺本直志、橋本公二、古川京司、柳澤彰子、山田和彦、吉田正
【監事 1 名】 関口修
【事務局 3 名】 高野英樹事務局長、大政哲人国際交流事業部長、仲村篤志競技会事業部長
(理事現在数：12 名、定足数 7 名、本人出席 11 名)

4. 議事の経過及び結果
鳩山会長代行を議長に、議題を逐一審議した。

第 1 号議案 第 67 回理事会議事録の承認について
議事録案を承認した。

第 2 号議案 2021 年度予算案の件

鳩山会長代行より 2021 年度予算について以下の説明があった。

収入は公認料および主催競技会収入を 2020 年度予算の概ね 7 割とした。2021 年度も新型コロナウイルス感染症の影響による収入減が続くとみている。

2020 年度予算の 7 割とは 2020 年度 11 月の収入の水準に相当する。年会費収入、商品販売も低調を余儀なくされると見込み、収入全体では 2020 年度予算比で 6,646 万円のマイナスとなる 1 億 6 千 30 万円とした。

経費は収入の大幅減を埋め合わせるべく削減に努めた。2020 年度予算比では、横浜ブリッジフェスティバルの開催見送りで 1,338 万円、普及事業の体験ブース出展、大学やユース助成の削減、教室助成の新型コロナウイルス感染症の影響による申請減で合計 1,276 万円、国際交流事業の代表、ユース派遣費用の削減で合計 277 万円、人件費の 1,092 万円を含む管理費で 2,023 万円をそれぞれ削減した。経費全体は 2020 年度予算比 6,162 万円のマイナスとなる 1 億 6 千 9 百 30 万円とし、トータル 900 万円の赤字予算となった。

12 月の業務執行会議では、普及事業部と国際交流事業部の経費のバランスに関して国際交流事業部の割合が多いのではないかとの指摘があり検討を行ったところ、国際交流事業部の費用は、国際大会の開催が不透明で流動的なことから問題は無いとの結論となった。収入の見通しについては、現在の状況では妥当であると判断された。

2021年度予算案については検討の結果了承された。新型コロナウイルス感染症の状況と2021年度の収支への影響については、引き続き注視することとした。

第3号議案 各委員会及び事業部報告

1. 企画委員会

吉田企画委員長より11月11日の企画委員会について以下の報告があった。

新型コロナウイルス感染症の影響については、感染者が増加傾向にあるとの報道の影響を受け、テーブル数が11月から減少に転じている。全国平均のテーブル数は10月には昨年比の7割強にまで回復したが、現在は6割程度である。

会員・会友数については、現在の会員・会友数は約7,000人で、昨年と同時期より300人以上少ない。また、4月以降に競技会へ1度も参加した履歴のない会員・会友がそのうちの約3分の1にあたる2,300人ほどの状況である。

デジタル化については、ブリテンのWEB掲載を行うことを決定し準備を進めている。3月号でお試し運用をし、5月号からの正式開始を予定している。著作権保護のためのダウンロードの制限については、ダウンロードしたファイルにパスワード入力で使用した会員・会友の番号が付与される方法を検討している。

2. センター協議委員会

浅越センター協議委員長より11月17日開催のセンター協議委員会について以下の報告があった。

新型コロナウイルス感染症の影響は、各センターから、11月から大変厳しい状況にあること、12月から2月にかけてエントリー数が激減していることが報告されている。

ウィークリーについてはセクショナル以上に厳しく、特に午前中は集まりにくくなっている。昨年比の5-6割といった状況である。

コロナ対策としては、冬場に向けて換気のための温かい服装をプレイヤーにお願いしている。

3. 代表選抜委員会

橋本代表選抜委員長より2021年APBF代表選抜試合に各2チームのエントリーのあったウィメン、ミックス、シニアの各カテゴリーの試合結果が報告された。2021年APBFのウィメン、ミックス、シニアの各代表については以下のメンバーを承認した。

ウィメン代表

佐藤牧子、白銀もとみ、高崎恵、西田奈津子、原澤沙依、柳澤彰子
ミックス代表

上田哲也、上田真理子、下保俊子、野田裕之、野田祐子、早坂雅之
シニア代表

井野正行、今倉正史、大政哲人、ロバートゲラー、前田尚志、山田和彦

4. 競技委員会

寺本競技委員長より 11 月 4 日開催の競技委員会について報告があった。

5. 普及事業部

齋藤普及事業担当理事より昨年度予定し新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため今年度に延期をしていた首都圏センター主催の初心者大会への当選ペアの招待について、新型コロナウイルス感染症の終息が見えないことから辞退の申し出があった旨報告された。

齋藤普及事業担当理事より 2020 年度ユース育成プロジェクトの申込状況について、新型コロナウイルス感染症の影響により昨年比マイナス 53 名の 32 名に留まった旨報告された。

6. 競技会事業部

山田競技会事業担当理事より競技会事業部活動状況および資格獲得者の報告があった。

7. 法人・管理部

寺本法人・管理部担当理事より 11 月末時点の予算決算対照表、比較財務諸表、月次収支実績、およびクラブ勘定の残高について以下の報告があった。

月次収支は 10 月が 138 万円の黒字、11 月が 96 万円の黒字であった。セクショナルを中心とした公認料収入は昨年比の 7 割程度だが経費削減に努めている。センターおよびクラブのクラブ勘定は、滞りなく納められている。今年度決算は各種助成金の雑収入が大きいいため、黒字を見込んでいる。

寺本法人・管理部担当理事よりブリッジプレイヤーの新型コロナウイルスの感染者が 11 月に大阪で発生したが、他のプレイヤーおよびブリッジセンターに影響は発生しなかった旨報告された。

第 4 号議案 その他の議案

1. 次回理事会開催について

次回理事会は 2021 年 1 月 22 日（金）18 時 30 分よりオンラインにより開催する

当日配布資料：第 3 号議案「会員・会友数の年度別の推移」

「競技会事業部報告」

2020年12月18日

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

第68回理事会

代表理事 鳩山 勝郎

監 事 関口 修